

USB

USB について学ぼう

- **USBとは:** **UNIVERSAL SERIAL BUS** の略で、パソコン本体と周辺機器との間でデータを伝送する経路の規格のことを言います。この規格には当初USB1.1と言う名称で導入されましたが、データの伝送速度が12Mbpsと言うかなり遅いものでしたがその後USB2. 2が開発され伝送速度も1. 2Mbps～最高では480Mbpsとなり現在多く使われています。
- **USBの特徴**としては速度が速く、賢いインターフェイスと言うことが出来、多くの種類の周辺機器をパソコンの電源を入れたまま抜き差しできる特徴を持っています。
- **USBのコネクター**には最大**127**の端末機器が接続でき、また電源としても5V 500mAまで使用できます。
- **USBコネクター**に接続できる周辺機器は、マウス、キーボード、ジョイスティック、フラッシュメモリー、ハードデスク、プリンターなど多くの種類に対応しています。最近特に良く使われるものに**フラッシュメモリー**があります。

- **フラッシュメモリー**とは: 外付け記録媒体のひとつで、のUSBポート(接続口)に直接に接続して使うことが出来るものです。その形状とデザインは多くの種類があり価格も大幅に安く入手できるようになりました。名称も**USBメモリー**としてデータの保存や持ち歩きに多く使われています。フラッシュメモリーは、ご存知のように書き換えが可能で電源を切ってもデータ



ーが消えない不揮発性の半導体メモリーで東芝で開発されたものであります。欠点としては寿命があり消去、書き込み回数が限られており、通常は100回から300回が限界と云われています。また保持期間も10年～数十年となっているようです。

従いまして、補助記憶装置として従来使われてきましたハードデスクの代わりとしてノートパソコンに使われてくるようになりました。

■手軽に使える色々なフラッシュメモリーの種類



スマートメディア(左側) : 切手ほどの大きさでデジタルカメラ用に使われることが多い。容量は32～128MB程度。

コンパクトフラッシュ(右側) 小型で他のフラッシュメモリーより安価なのが特徴で高速で大容量のものがあります。



SDメモリーカード: 切手大のメモリーで大きな特徴は著作権保護機能を内蔵している。音楽などのオンライン配信に対応したためメモリーとして使われることが多くなると思われる。容量は32～512MB程度。

以上